



No.50

# 協会だより

Japan Tourism Facilities Association



## 2月

発行 / 社団法人国際観光施設協会  
総務委員会  
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋  
2-8-5 多幸ビル九段2階  
TEL03-3263-4844  
FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2005年2月1日

## 愛知万博のテーマと観光施設

副会長 涌井 史郎

2005年日本国際博覧会「愛・地球博」

会場演出総合プロデューサー

桐蔭横浜大学 生命環境工学研究機構 機構長・教授

いよいよ2005年。ミレニアムに感動した世紀の幕開けから、早くも5年経ってしまいました。

21世紀に突入した際の識者の大方の予測のとおり、エネルギー、自然災害を含め、今まさに環境の世紀をまざまざと実感させられています。

そうした環境の世紀に相応しい万国博覧会、通称「愛・地球博」がこの3月25日から35年ぶりに、名古屋東部の「長久手」をメイン会場、海上の森「瀬戸」をサブ会場として開幕します。会期は9月25日まで185日間の開催です。

会場演出総合プロデューサーとして三年余、懸命にこの博覧会に関わってきた一人だけに、感無量でもあります。またこの間、当協会の会員各社が様々な形で関与していただき、改めてお礼申し上げます。

博覧会150年の歴史の中で、この博覧会はかなりユニークな軌跡、そしてエポックメイキングたる内容を担っているものと日々確信しつつあります。

今は最終局面にあり、最後の駄目だしに奮闘する毎日ではありますが、この博覧会ならではの特色をどれほど来場者に感じていただけるかが、奮闘のポイントになっています。

1871年、ロンドンはハイパークで、水晶宮をメインパビリオンとして初の万国博覧会が開催されました。その後50年毎に、博覧会を担う主役が代わりました。やや一刀両断的に言えば、始めの50年は、万国万有博覧会、つまり珍品貴品など物にこだわった博覧会。次の50年は国家の力自慢。そして最後の50年は、企業力の宣伝と科学技術の博覧会であったと言えるでしょう。

「愛・地球博」は、そうした博覧会を変えました。つまり、Exposition(展示)からExperience(体感・体験)に軸足を移し、多参画型社会の今を捉らえて、国・企業に加え、第三の主役として市民を加えました。

この博覧会には、さまざまに市民やNGO・NPOが企画から運営にまで関わっています。

また3R、つまりリデュース・リユース・リサイクルを軸に、ハイテクからローテクに至るまで、あらゆる環境技術が、展示・体験出来る仕掛けとなっています。

会場建設そのものも、3Rの技術が結集されています。

観光施設も、環境施設化せねばならぬ今、この博覧会が会員諸氏の参考となる事を期待しつつ、是非御来場ください。

## HOTERES JAPAN 2005のご案内

協会のホテルズ2005の実施計画が決まりました。メインは、前回に引き続き「設備のリニューアルに関する無料相談コーナー」を開設いたします。今回は、空調と衛生に関して実際に行ったりリニューアル時の配管類を現物と写真パネルで展示紹介するほか、エコデザイン分科会で行った「宿泊施設のエネルギー消費量調査」のデータを公開展示し、調査に基づく「費用の掛け方と効果」についてアドバイスすることになりました。

また、特別企画展示「AQUA & SPA2005～健康と癒しのための展示会」に、旅館観光地分科会で行っている「温泉のまちづくり」フォーラムの実績を展示します。

会員の皆様方のお客様にも、ぜひお誘い下さいますようお願いいたします。

尚、協会ホームページで、無料相談の予約受付とこれまでに受けた主な相談内容の公開を行っております

場 所	東京ビックサイト 東展示棟・東4ホール、協会ブース4A-1021 昨年と同じ場所です 当協会ホームページ <a href="http://www.kankou-fa.jp">http://www.kankou-fa.jp</a>	日 時	2005年3月8日(火)～11日(金) 10:00～17:00(最終日は16:30まで)
			ホテルズホームページ <a href="http://www.jma.or.jp/hcj/">http://www.jma.or.jp/hcj/</a>

## 松本 浅間温泉

### 「温泉のまちづくり」フォーラム 報告

松本市の「浅間温泉まちづくり協議会」の温泉のまちづくりフォーラムが11月28日浅間温泉文化センターで開かれました。

このフォーラムは、当協会旅館観光地分科会が昨年4月より地元関係者をはじめ、大勢の方に直接訪問して現地調査を十数回にわたって行ない、総力を結集して、このフォーラムの原動力となり開催されたものです。

フォーラムでは当協会メンバーをはじめ、地元住民や小中学生、観光関係者など約200名が参加し、活性化案が提案され全員参加で討論が行なわれました。

「住んでよし、訪れてよしのまちづくり」をモットーに有益な提案が次々と出され、盛会のうちに終了し、十分な成果を得ました。

### 賀詞交歓会開催 報告

1月14日には賀詞交歓会が「グランドヒル市ヶ谷」にて開かれ、約120名の会員が新年を寿ぎ、会員相互の交流を深めました。

はじめに、村尾会長から、「観光立国、景観などの話題が盛んになってきたなか、当協会に期待される役割が大きいので、会員と共にいっそうの努力を続けていきたい」とのご挨拶がありました。

### 忘年交歓会 報告

12月3日に恒例の忘年交歓会が、白金台の由緒ある「八芳園」で行なわれ、145名のご参加をいただきました。

久しぶりに交流される方も大勢みえて和気藹藹の雰囲気の中、和やかに終えることができました。

景品に時節柄「ボジョレーヌーボー」も出され豪華な景品に一喜一憂の楽しい会でありました。

### 協会新事務所 地図



<交通案内>

- ・JR中央線「飯田橋駅」東口より徒歩6分
- ・地下鉄「飯田橋駅」A5出口より徒歩3分
- ・地下鉄「飯田橋駅」A2出口より徒歩6分
- ・地下鉄「九段下駅」N07出口より徒歩6分

### 「美しい景観を創る会」設立とシンポジウム開催

美しい日本の景観が国民の共通財産であるという価値観を醸成し、国民的運動を提唱することを目的とした「美しい景観を創る会」が12月3日に設立されました。メンバーは土木・建築・都市計画・造園・景観など多様な分野の第一人者12名で、それぞれ異分野の専門家同士が連携することにより、美しい景観の再生・創造・保全のために運動を展開するものです。具体的な活動内容は、シンポジウム・セミナーの開催、行政関係者・経済界への提言、国民的運動の提唱・推進、景観形成教育の導入など多方面にわたっています。会のスタートを記念して、シンポジウムが次のように開催されますので、ぜひご参加ください。

#### 「美しい国づくりシンポジウム」

日時：平成17年2月16日(水)13:30~16:30  
場所：経団連ホール(経団連会館14階) 参加費無料  
申込：「美しい景観を創る会」事務局

<(財)日本地域開発センター気付>

氏名・所属・人数をFAXかメールでお願いします  
FAX:03-3501-6855 mail:keikan@jcadr.or.jp

### 新入会員

#### 【メーカー】 株式会社シー・アイ・シー

(代表者) 代表取締役 芳賀 英吾  
(担当者) 顧問 小西 隆夫  
〒110-0014 東京都台東区北上野1-10-14  
TEL03-3845-8612 FAX03-3845-8608  
事業内容:有害生物防除、コンピュータ防鼠対策、殺菌消毒など

#### 【メーカー】 東急リネンサプライ株式会社

(代表者) 取締役社長 加藤 誠司  
(担当者) 営業推進部 取締役部長 荒井 俊二  
〒142-0041 東京都品川区戸越6-23-18  
TEL03-3785-9553 FAX03-3785-9540  
事業内容:繊維製品並びに付属品の製造、貸付、販売及び洗濯

#### 【設計・調査】 観光計画研究室

(代表者) 代表 目黒 修二  
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-33-3 佐々田ハウスA  
TEL03-3443-5487 FAX03-3280-2045  
事業内容:観光事業計画、観光振興・まちづくり計画、環境調査・計画

### ♥編集後記♥

昨年12月に長い間懸案であった「景観法」が施行され、いよいよ観光産業界にとっても新しい幕開けになるようです。村尾会長が推進された各分野の専門家による「美しい景観を創る会」も発足され、具体的な活動が一気に広がろうとしています。私達の活動も、新たな目標に向けて、さらなる期待が寄せられるところとなりました。新年に相応しい話題に身が引き締まる思いがしました。 Y・K